

遠野地方森林組合『かっぱ塾』について

遠野地方森林組合では今年度の地域けん引型経営体の認定を目指して、職員を森林経営意識改革セミナーに派遣し、地域森林経営プラン作成に向けての研鑽に取り組んでいる。当セミナーも今年で3年目を迎え、先輩参加者や県職員から事前に多くのアドバイスを頂くことができ、農林センターとしてはより効率的に成果を上げられるよう、セミナー開催前から森林組合に対して事前の勉強会を提案し、併せてセミナーの内容を組合職員全体で共有できる仕組みを整えることにしました。

当初は「セミナーの復命・伝達」という感じの報告会で終わったが、回を重ねる(1回/月)度に単なる報告会から「うちの組合ならばどうする」とか「遠野でも出来るか」と言った感じの前向きな姿勢が見られるようになり、それにつれて報告・伝達の会から自ら

の課題や問題等の洗出し、対応の検討や解決策の模索など具体的な議論、討議の場に発展・成長していきました。この頃から会に名前をと言う声が上がリ、担当職員の名を冠して成〇塾と呼んだりしていましたが、遠野なら河童だなど言うことで「かっぱ塾」と呼ぶようになりました。

内実はまだまだ「お知らせ」する程ではありませんが、森林組合内で自由に話が出来た場になったのは確かなようで、今後も「お手伝」的に協力しながら、見守って行きたいと思っています。



かっぱ塾での議論の様子